



誰かの「当たり前」のために

校長 西田 昌史

2学期が始まり、小学校、中学校それぞれ大きな行事が行われました。

中学校では修学旅行があり、私も同行しました。長崎の原爆資料館、福岡の太宰府天満宮、熊本のグリーンランド等、これまでも生徒の引率で訪れたことのある場所ですが、今回は初めての経験がありました。それは、長崎の永井博士記念館で、永井博士のお孫さんの講演を聞いたことです。平和は、決して当たり前のものではなく、多くの人の願いや努力に支えられていることを改めて心に刻む時間になりました。

修学旅行から戻った後は、小学校の黒米脱穀に参加しました。9月3日に刈り取り、体育館に干していた稲は乾燥しているとはいえ、両手で抱えるとずっしりと稲穂の重さを感じ、足踏み脱穀機で脱穀し、袋に詰めたたくさんの粳を見て、感動を覚えました。そして、同時に子どもたちには、豊かな収穫は当たり前ではないということを感じてほしいと思いました。小学校の職員が中心となって、地域の皆様に協力をいただきながら水の管理やイノシシ除けのネットの設置などをして稲の成長を見守り、子どもたちも草取りを例年以上に頑張りました。多くの支えがあって、子どもたちは収穫の喜びを味わうことができました。

平和も稲の収穫も、見えないところで誰かが努力し、支えてくれているからこそ成り立ちます。これからも小5・6年生の修学旅行、運動会、小学校持久走大会・中学校の校区一周駅伝大会と大きな行事が続きます。また、中学3年生は、高校入試に向けて受験勉強への取組が本格的になってきます。自分にできることを精一杯やることはもちろんですが、準備をし、支えてくれている人たちの存在を忘れずにいてほしいと思います。

そして、将来、大川の子どもたちが成長し、おとなになったとき、今度は自分が誰かの「当たり前」を支えられるようになっていくことを信じています。

全国学力・学習状況調査の結果から

今年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。調査対象は、小学6年生(国・算・理)と中学3年生(国・数・理)です。

下記表に記載の数値は、得点ではなく、何問中何問正答できたかを中央値で表したものです。中央値とは、受検者数の中間にあたる正答数です。(中学理科は、検査方法が異なるため、平均正答率を示しています。)

少しわかりづらいですが、表中の10/14は、14問中10問をその集団の中央の児童生徒が正答できたとみてください。本校の場合、小学校からの学習が中学校で開花しているようです。今後も大川小中学校では、家庭と連携を図りながら、児童生徒の学力向上に努めてまいります。

	国語	算数	理科		国語	数学	理科
大川小	10/14	7/16	9/17	大川中	9/14	7/15	3.8/6
県	10/14	10/16	11/17	県	8/14	6/15	2.8/6
全国	10/14	10/16	10/17	全国	8/14	7/15	2.9/6

令和7年10月の主な行事等のお知らせ(予定)

日	学校行事他	日	学校行事他
10/1~2	複式5校合同修学旅行(小5・6年)	10/23	前期通知表配布
10/6	スクールカウンセラー相談日	10/24	運動会準備
10/11	土曜授業 八月踊り練習	10/26	第78回運動会
10/12	PTA奉仕作業	10/28	第48回奄美市中学校弁論・英語スピーチ大会
10/21	運動会予行練習	10/29~30	中学3年実力テスト
		10/30	奄美市小学校陸上記録会(小6年)

中学校:修学旅行(9/9~11)



小学校:実りの秋 黒米稲刈り&脱穀

9/3に稲刈り、9/17に脱穀をしました。

<https://x.gd/pAH6f>

大川小中ブログはこちらから。

ほぼ毎日更新中!

ブログの内容を、家族の、地域の話題の一つにしてください。



今年の八月踊りは、「したらがち八月踊り保存会」の皆様
指導していただきました。ありがとうございました。

